

地域に密着した企業経営について紹介する伊藤常務(中央)

# いちいち社員が講師に



## 福島学院大短期大学部情報ビジネス学科

福島学院大は一日、県内でスーパーマーケットを展開するいちいち(本社・福島市)の社員を講師に招いた授業を同大の駅前キャンパスでスタートした。地域密着型の企業経営について学習する。

## 地域密着型の 企業経営伝授

短期大学部情報ビジネス学科二年生の「経営概論」の授業。坂本恒夫理事・特任教授が講師を務める。後期の十五回分全ての授業に、いちいちの社員が参加する。新規事業への取り組みや地域課題の解決策、物産展の運営

状況と改善点などを紹介する。実際に学生が店舗に向き、実地研修も行う。

いちいちの伊藤翼(よく)常務・管理本部長は「福島のために新しい活動に挑戦し続けている。中小企業のリアルを知ってもらえればうれしい」とあいさつし、福島学院大の桜田葉子学長は「授業を通じて生きた経営を学び、古里を支える人材になってほしい」と語った。

同大と同社は昨年十二月に地域経済の発展や人材育成に向けた連携協定を結んでいる。